

## 令和6年度 第2回嘉麻市総合教育会議 会議録

- 議会等の名称 令和6年度 第2回嘉麻市総合教育会議
- 開催日時 令和7年2月4日（火） 14時20分～
- 開催場所 嘉麻市役所 本庁舎5階 委員会室1
- 公開又は非公開の別 公開
- 出席者等

・出席者

市長	赤間 幸弘	副市長	山田 卓嗣
教育長	木本 寛昭	教育長職務代理者	佐竹 正利
教育委員	松岡 瞳子	教育委員	辻田 喜美
教育委員	犬丸 隆行		

・執行機関

総合政策課			
課長	大村 輝生	課長補佐	森 康弘
係長	藤内 優		

教育委員会	教育総務課長	大野 明治	学校教育課長	田淵 敬三
	教育総務課長補佐	藤田 賢一	学校教育課長補佐	石坂 良子

- 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） なし

- 議題及び審議の主な内容

### 1. 議 事

- (1) 嘉麻市立中学校におけるいじめ重大事態に関する再調査報告書における嘉麻市いじめ問題調査委員会からの提言（再発防止策）取組状況について（資料1）

事務局より、資料1の取組状況について説明

《主な質疑及び意見等》

特になし

## (2) 各種学力調査結果について

### ア 令和5年度標準学力調査（資料2）

事務局より、資料2について説明

- ・調査対象は小学校・義務教育学校1～6年生まで、国語・算数の11月までの学習状況の分析結果
- ・令和3年度から実施し、全国平均スコアを50とした場合、嘉麻市は平均スコアに僅かに達してはいないものの、スコアは年々、徐々に上昇している。
- ・今後はAIドリルなども活用し学習予定。
- ・令和6年度12月の結果速報としては、国語算数平均スコア49.8ポイント内訳は、国語49.1ポイント、算数50.5ポイントと昨年よりも上昇。

### イ 令和6年度標準学力分析検査（資料3）

事務局より、資料3について説明

- ・調査対象は中学校全学年、令和6年4月に行った中学校の学習状況の分析結果  
全国平均スコアを50とした場合、小学校と比べると少し停滞している状況ではあるが、令和6年度は昨年度比で0.3ポイント上昇している。
- ・小学校でポイントの伸びがみられるので、長期的に見て数値の上昇が予想される。

### ウ 令和6年度全国学力・学習状況調査（資料4・5）

事務局より、資料4について説明

- ・調査対象は小学校6年生、中学校3年生  
全国平均スコアを100とした場合、小学校においてはあとわずかで全国平均に手が届くところまできている。
- ・中学校においては、若干停滞している状況ではあるが、小学校からの継続学習により、長期的に見て数値の上昇が予想される。

事務局より、資料5について説明

- ・調査対象は同じく小学校6年生、中学校3年生
- ・福岡県の標準スコアを100とした場合の国語・算数（数学）の学力調査  
令和5年度、6年度ともに県標準スコアは下回っているものの、単純な数字上で  
の比較を行うと、昨年から今年にかけてスコアは上昇。
- ・特に算数・数学については上昇が著しい。

《主な質疑及び意見等》

質疑

- ・学力状況はよくなっているとのことだが、以前は学校が荒れていて勉強どころではない状況があったが、現在は学校の荒れは収まっているか？  
⇒現在は全体的に落ち着いている。
- ・不登校児童生徒数は昨年に比べ22名減少しており、その他の問題も減少傾向にある。少人数指導や特別支援関係の人員配置が落ち着きの要因の一つとなっている。

- (3) 嘉麻市立小学校、中学校及び義務教育学校の教育学校の教育制度の充実に関する規則の一部を改正する規則について（資料6・7）

事務局より、資料6・7の改正内容について説明

《主な質疑及び意見等》

特になし